

冬も節電アクションを
振興組合の定款に参考例
トットちゃんの街発信

商店街ニュース

(令和6年) 2024年2月5日
(毎月5日発行)

都振連・都商連

4年ぶり従来の新年会

「商店街を備蓄倉庫に」

山田理事長 災害対策など呼び掛け



東京都商店街振興組合連合会と東京都商店街連合会は1月9日、新宿の京王プラザホテルで、4年ぶりに従来のスタイルで新年会を開催した。コロナ禍で中止や規模縮小が続いていたが、今年は会員や関係団体などから約170人が集まった。開会あいさつで山田昇理事長・会長は、元旦に発生した能登地震に触れ、被災した人々へお見舞いの言葉を述べ、街にある各店舗は、い



わは地域の分散されたの、光は見えて来た。備蓄倉庫。何かあった時に商店街の物資を提げることができる形になる。女性活躍できる場をもちとつづけていこう」とも話した。山田理事長・会長は、イベントによる地域活性化や災害時支援などを通じて「商店街がないと困る」と言われ、地域で役割を果たさなければ存在価値はないと思う」と呼び掛け、新年の抱負を語った。

TOKYOを強じん化 知事も新年の抱負

都知事も、能登地震や羽田空港で起きた航空機事故のニュースに触れ、「リスクはいつやってくるかわからない」と改め、首脳直下地震などさまざまなリスクに備え「TOKYOを強じん化プロジェクト」を進めたい。商店街も安全・安心な街となるよう連携を確保してほしい」と話した。また、時間外労働の上限規制が始まり輸送力の不足や物流の停滞などが懸念される2024年問題に加え、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)に入る2025年問題が迫っていることを指摘。日本は元来高齢者が多いが、皆いつかは介護が必要になる。東京都は「フレンドリーアース(子供目線の政策)でやってきていくが、介護分野にも光を当て、介護人材を確保していかなければならない」と話して、2024年度予算案を査定中であることにも触れた。商店街に対しては、



東京都商店街振興組合連合会と東京都商店街連合会の石田徹事務局長の音頭で乾杯

都24年度予算案

商店街支援に51億円

DXや女性活躍の推進へ

東京都は1月26日、進捗率では、キャッシュレス化やアプリ開や機器購入にかかる助成金などデジタル化に取り組む商店街に対し、

政府は、そのほか、消費者庁や農林水産省、経済産業省などが検討していた。政府は、未利用の食品を企業やメーカーが寄付すること、フードバンク団体等が寄付した食品を生活困窮者らへ無償提供するなどをさらに進めること、食中毒が、食品事故が発生した場合の法的リスクが阻害要因になるという問題が指摘されている。今後、官民で議論を深め、一定の管理責任の内容を示す「食品品質付に関するガイドライン」を2024年度中に策定する。

政策課題型 補助金

東京都は2月27日午後2時30分、都庁都民ホールで、2024年度の政策課題対応型商店街事業について説明会を開く。事業は「環境」「防災」「福祉」「国際化」など、行政課題の解決につながる商店街の取り組みを集中的に支援する補助金。

2月27日に説明会 都民ホールで要申し込み

東京都は2月27日午後2時30分、都庁都民ホールで、2024年度の政策課題対応型商店街事業について説明会を開く。事業は「環境」「防災」「福祉」「国際化」など、行政課題の解決につながる商店街の取り組みを集中的に支援する補助金。

令和5年度 商店街ステップアップ応援事業

商店街の活性化 サポートします!

専門家を派遣して

たとえば 下記のような相談に対して 支援・アドバイスいたします

派遣費用 無料

- 売上アップやにぎわい増につながるイベント
- 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
- キャッシュレス・ホームページ導入などIT化
- 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
- 障がい者・高齢者用サイン表示や休憩スペースの設置
- 加入促進・若手の活躍など組織運営
- 商店街の中長期的なありかた・ビジョン
- 来街者に安心・安全な商店街づくり
- 地域と連携した、街の活性化への景観づくり
- 再エネ・省エネ

支援のながれ

お申し込み → 事前打ち合わせ → 日程調整 専門家手配 → 専門家による 支援の実施

WEBにてご案内

専門家の派遣は一つの相談に対して原則5回、最大10回までです。

随時受け付け中 → 東京都商店街振興組合連合会/ステップアップ事務局 ☎03-3547-3787

各市区振連・区市商連会員様

お願い

商店街(会)の新聞送付先の変更(理事長・会長の交代など)があった場合は下記までご一報ください

東京都商店街振興組合連合会 広報課
Fax: 03-3542-0236 または
Mail: news@toshinren.or.jp